

血液で「がん」を調べる「腫瘍マーカー検査」ってなに？

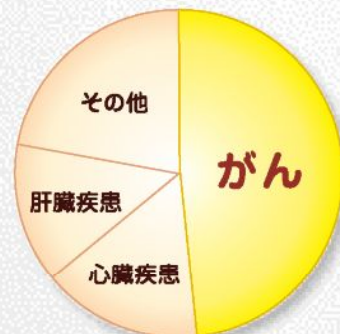
知りたいこと
聞きたいこと

「がん検査」の話

ペット(犬・猫)の「がん」

ペット(犬・猫)も人間と同様の「がん」を発症します。近年、ペットは人間との生活環境の同等化による、有害物質の摂取、偏った食餌・ストレス・運動不足などにより免疫力が低下して「がん」の発症率が高まっています。最近の犬の病気での死亡原因のトップは「がん」となっています。

犬の病気での死亡率



犬の病気の順位



「がん」は完全に治るのですか？

残念ですが、現在は人間と同様に不治の病であり、一旦患ってしまうと完全に治すのは難しい病気です。

「がん」の治療方法はあるのですか？

「がん」(悪性腫瘍)は発症部位や大きさ、進行度、性質、生体の状態などによって治療方法は異なります。獣医師がこれらの要因を総合的に勘案し診断を行い治療の方向性を決めます。方向性は根治治療(手術などにより完全に「がん」を取ってしまう)と、進行抑制・縮小化を目的とした治療(抗癌剤、放射線など)の2つに大きく分かれます。また、両方を併用する場合があります。

「がん」を見つけられるのですか？

動物のがん医療は、これまで人間からは遅かに遅れていて有用な腫瘍マーカー検査(血液検査)がなく、「がん」を早期発見することは困難でした。

当社では、人間用腫瘍マーカーの小動物への応用に成功し、「がん」の早期発見を可能にしました。

腫瘍マーカー検査ってどんなものですか？

体内に「がん」が発症した場合、がん細胞の増殖と共に蛋白質及び単糖類を中心とした物質(腫瘍マーカー)も増加し血液中に拡散されていきます。血液中のこれらの物質の量をはかり、「がん」の動態把握を行うために行う検査が腫瘍マーカー検査です。人間用の腫瘍マーカー検査は数多くあり、私達(人間)のがん医療では幅広く行われています。

【ご注意とお願い】腫瘍マーカー検査は100%を保証することのできる検査ではないということをご承知置き下さい。確定診断を行うための検査ではなく、高い確率で「がん」(悪性腫瘍)を見つけるための検査として受診して下さい。

100%見つけられるのですか？

「がん」は発症部位や大きさ、性質(悪性が良性かなど)や進行度などが全て個体(生体)ごとに異なります。それを腫瘍マーカー検査で100%見つけることはできません。

当社の検査感度は約80%であり、この数字は人間でも特に優れている腫瘍マーカー検査と同等です。しかし、約20%は事実とは異なる(反対の)結果が出てしまう可能性もあります。

人間の場合は数種類の腫瘍マーカー検査を同時に行えるため、感度はアップしますが、それでも100%ではありません。

※腫瘍マーカー検査は、獣医師が確定診断を行う際の一検査として使われています。色々な検査を行い、その結果を元に最終的には獣医師が総合的に勘案して確定診断を行いません。

どのようにして検査を行うのですか？

血液検査ですので血液の採血だけで検査を行います。生体に対し大きな苦痛や痛みなどを与えないで検査することができます。採血後、2~5日で検査結果をお渡し致します。

「がん」は早期発見~早期治療が大切!

「がん」を早期発見することにより、根治を目的とした手術やその他いろいろな治療などを早い段階で行うことが可能となり、根治や抑制できる確率はより高くなります。

「がん」は小さくて少ない早期段階での早期治療が大切です。

一番身近なドクターは、飼主のあなた!

犬や猫は本能的に病気の痛みや苦しみをジーっと我慢します。何かの異変に気付いて慌てて病院に連れて行った時には、既に手遅れといった悲しい結果を招くことが多々あります。日頃からの健康チェックと定期的な健康診断受診が大切です。